

宮城県環境影響評価マニュアル検討部会 議事録

日時 平成21年3月27日(金)
午後1時30分から2時まで
場所 県行政庁舎4F 特別会議室

- 1 開 会 【大内副参事】
- 2 あいさつ 【高橋環境政策課長】

3 審議事項

宮城県環境影響評価マニュアル(動物・植物・生態系)の改訂について

イ 事務局説明 【高橋主任主査】

ロ 質疑応答

【由井部会長】

事務局が提示したマニュアルはすでにお読みいただいていると思います。今の事務局の説明について私の説明をする時間はありません。各委員もさらに何かありましたら意見を出していただきたいのですが、事務局にそれを出しまして、本文に追加して入れるのではなく何ページのどこに挿入するか、挿入箇所あるいは修正箇所だけ抜き出して早急にとりまとめ、各委員に送っていただいて、各委員に賛否を問うて了解ということであれば追加修正を行っていただくということをお願いしたい。

【事務局】

力不足でそのようになります。

【由井部会長】

追加も結構多くありましたし、多少気になるところがありました。完全なミスもありましたし、それについては私の資料を置いていきます。その中で、時間が数分ありますのでお話ししたいのは、全体の中に適応的管理あるいは順応的管理という言葉が入っていないので、これを入れたほうがお互いによりよい対応ができると思うのです。何もないと、失敗したら終わりになってしまいます。順応的管理を、例えば53頁あたりに入れていただいたらどうでしょうか。キーワードとしてそういう方法もあるという参考文献を添えて、使いやすくする。絶対それをやらなければいけないというのではたいへんかもしれないので。最近そういう考え方も流行っています。もう一つは、DNA分析がほとんど入っていないのですが、これを入れるかどうかです。動物のほうも関係するのですが、最終的な保全対策の一つである移植を行う場合に遺伝子攪乱を起こしてはいけないし、希少種の判定にDNAも最近使われています。そういう方法もあるということどこかに入れたほうがいいので、ご検討願います。それ以外で何か重要な点でどうしてもというのがございましたら願います。

【平吹委員】

12月ころからやらせていただいていたのですが、年度末は力尽きてしまいました。由井先生のように丁寧に拝見する時間がありませんで、たいへん失礼しました。今の由井先生のご提案については、大変恐縮ですが、お取り計らいいただければたいへんありがたいと思います。由井先生には申し訳ないのですが、基本的には部会長の責務によりご一任していただけますでしょうか。

【由井委員】

よろしいですか。ごく専門的なことでどうしてもという部分があれば、専門の委員がおりますので、絶対了承しなければいけないというところについて、個別に項目ごとに抽出して送っていただきたい。

【事務局】

しっかり検討して調整したいと思います。

【由井部会長】

それではよろしいでしょうか。若干の修正が残ったということですが、大枠の方向はこれでほぼよろしいということでしたら承いたいただきたい。それから今後の対応もお任せいただくのと、個別に質問が行く可能性があるということで、了解いただきたい。それでは一応了承ということで、簡単ですがこれで議事を終わります。事務局から何かございますか。

【事務局】

事務局から連絡事項があります。本検討部会の結果につきましてはこの後の技術審査会においてご報告させていただきます。またマニュアルにつきましては、ただいまのご意見あるいは部会長と調整させていただいて、製本したものを後日委員の皆様へ送付させていただく予定です。なお本マニュアルにつきましては来年度早々にホームページに公表し運用したいと考えております。また、東北環境アセスメント協会が会員の方々に本マニュアルを印刷製本して配布していただくということですのでよろしくお願い申し上げます。以上です。

【由井委員】

今の説明について何かございますか。なければ以上で終わります。ありがとうございました。

4 閉 会 【大内副参事】

【出席者】

部会委員

齊藤千映美委員

平吹喜彦委員

由井正敏委員（部会長）

参考人

東北環境アセスメント協会 橋本正志

事務局

高橋環境政策課長

大内副参事兼課長補佐

高橋技術副参事兼技術補佐

田畑技術副参事兼技術補佐

大倉技術補佐（班長）

高橋主任主査

佐藤技術主査

山谷技師